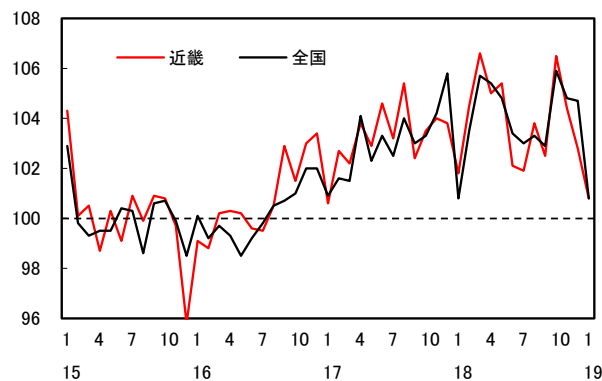


関西の景気トピックス【鉱工業指数（19年1月）】

- 19年1月の鉱工業生産動向（近畿経済産業局）の速報データによると、生産（季節調整値）は3か月連続の減少となった。業種別には、電気機械、生産用機械、金属製品などの減少が目立つ。蒸気タービンなどの長期生産物を除いた動きも、3か月連続の減少となっている。
- 在庫循環の動きをみると、前月は、積み上がった在庫を減らすために企業が生産を減らすという「在庫調整局面」であったが、今月は需要が生産量を上回る「意図せざる在庫減少局面」に転じている。
- 生産全体を「電機・電子部品」と「その他の業種」に分けると、電機・電子部品が急激に減少しているのに対し、その他の業種は比較的堅調な推移が続いている。これらは、足元の生産減が、米中貿易摩擦などによる電機・電子部品の減少が主因であることを示すものといえよう。

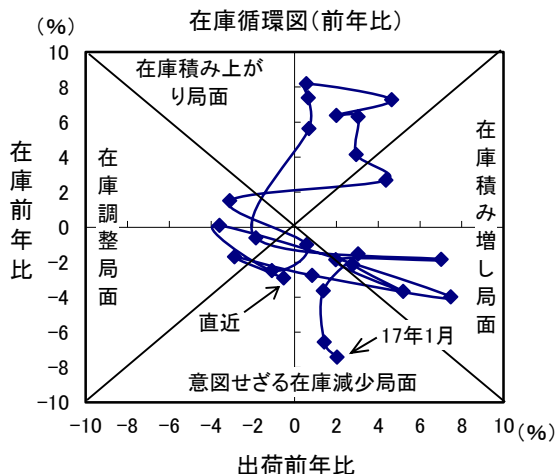
(H27年=100) 鉱工業生産指数の推移(季節調整値)



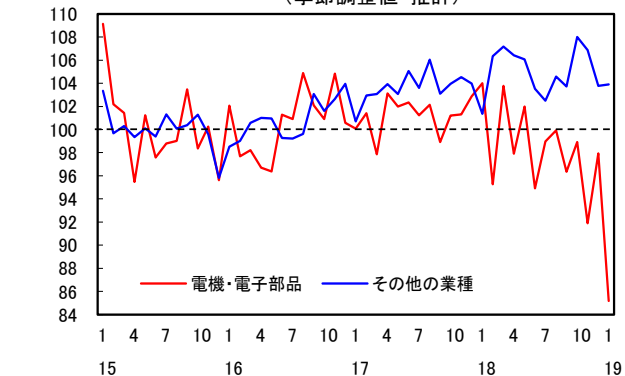
(H27年=100) 【関西】長期生産物を除いた生産指数(季節調整値)



(出所)経済産業省



【関西】電機・電子部品および、その他の業種の推移(季節調整値・推計)



(出所)経済産業省統計をもとに、リそな総研作成
 ※電機・電子部品・・・電子部品・デバイス工業、電気機械工業、情報通信機械工業の加重平均
 ※その他の業種・・・上記3業種を除いたすべての業種

※近畿の鉱工業指数に関する詳細は近畿経済産業局HPにてご確認ください。